

スローテンポ通信

第 70 号

2023年10月14日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎今読んでもらいたい

○『なぜ、自衛警察は日本だけなのか』

佐藤直樹 現代書館 2023年

☆☆☆★★★

貧困層の増加、若者の自殺、息苦しさ、閉塞感などなど、日本はますます生きづらい国になっている！

それはなぜなのか。著者は、「世間」に現因を見つけるが、果たして、そうだろうか。

◎ 参加するだけで、本を読みたくなる 読書こんわ会

毎月第4土曜日午後3時～5時

本を紹介の後、自由に話し合います。参加無料、準備不要、出入り自由、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎！

次は2023年10月28日(土)

紹介する本は

『エクストリーム大家』

春川賢太郎著 ライチブックス 2023年
1700円+税 ☆☆☆☆☆

エクストリーム大家(おおや)とは、刑務所からの出所者や家族と連絡を取れない人など、ワケありな人たちに部屋を貸す大家(賃貸アパート経営者)のことを言う。

やさしさや民主主義を標榜する行政は、このようなワケありを理屈を並べて見捨てる。ワケありは、行政や社会から見捨てられているのである。

著者は、この社会の矛盾に立ち向かった。ブログに紹介文があります。

《話し合いの候補テーマ》

- ・行政が支援する人、見捨てる人、どこで分かれるのか。

日本人のよいところ、悪いところ

スローテンポ書店の懇話会にはいろんな人が参加する。外国人たちが、「時間に正確な日本の鉄道は素晴らしい」といって賞賛すると、それを聞いて、日本人たちは改めて日本人の良いところに気付く。

日本人は人と人との関係を大切にしてきた。相手にやさしく、常に気遣いを忘れない。だから約束の時間には遅れない。1分たりとも遅れまいとして必死に努力する。

日本の鉄道が分刻みで正確に動くから、利用者は安心して利用する。1分でも遅れれば鉄道会社は問題にする。そこに自ずと信頼関係が生まれていく。

人へのやさしさという貴重な日本文化が、時間を守るという形に現れ、世界の人々が褒め称える。

日本人の人に対する気遣いはコミュニケーションの場でも現れる。

日本人は自己主張を抑え、自分一人がでしゃばることはない。反対意見があっても言わないで黙る。

面と向かって反対することは、相手を傷つけると感じてしまう。だから、黙ることで、暗に反対だと気付いてもらおうとする。

自分しか知らない事実や、誰も思いつかないアイデアなどでさえ、控えめに伝えようとする。

そんな日本人に対し欧米人は、対照的である。

「オレがワタシが」と他人を差し置いて自己主張する。皆が自己主張するのだから、自己主張しなければ無視される。主張しなければ、誰も見向きしてくれず、競争社会では落ちこぼれてしまう。

欧米型の競争とは、生き残りをかけた弱肉強食の争いであって、互いが切磋琢磨し、励ましあって共に成長するという日本型の競争ではない。

欧米の文化は、欧米の歴史に根ざしている。それは古代から延々と続く競争のくり返しから生まれたのだろう。

植民地の時代以降は、欧米列国が競い合ってアフリカ、新大陸、アジア、オセアニアを植民地にしていった。自分たちだけが豊になるための戦争に明け暮れた。

欧米列国が世界を分割し支配した結果、欧米文化や欧米の発想が世界を支配するようになった。

風俗、習慣から音楽、芸術、学術に至るまで欧米由来のものが中心になった。哲学や宗教、政治や経済、心理学や人と人との関係まで欧米方式が支配するようになった。

あらゆる分野で、欧米のものが先進的で、アジア、アフリカ、ラテンアメリカのものは時代遅れだとみなされるようになった。

欧米文化がグローバルに支配する中で、日本の社会も変化してきた。仕事も生活も経済活動も社会活動も、欧米方式が支配する。もはや、やさしさから出発する日本伝統の方式は通用しない。

では、日本文化のやさしさを大切にしたい日本人はどうすればよいか。

状況の変化に応じて、臨機応変に良いものを取り、悪いものは捨てる。日本方式、欧米方式のいずれも、よく考えて取捨選択するのである。

学校でも社会でも、マスメディアやSNSでも、自分でよく考え、取捨選択するのである。

紙面の関係で具体例を述べられないが、ブログではわかりやすい身近な例が紹介されている。

また、書店の懇話会では、立場を問わず誰でも、どんな主張もできる。「小山はやさしさを忘れてる」と話題になったこともある。ぜひ考えるきっかけにしてください。

ただし、懇話会はみなが公平に参加できるように、困りごとを優先している。個人の自慢話や理念的な夢物語は、別の場でやってもらう。

主張があれば批判もある。この懇話会は、他人の話を理解し、よく考え互いが主張し合う場となっている。

(ブログより抜粋)



本好きも本嫌いも

本のよさを再発見する!

スローテンポ書店

小山駅西口 ロブレ地階

オープン: 火、木、土 13時～19時

祝日はお休みです。



日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。本があなたを待っています。

☆すろーてんぽ懇話会

悩みごとや困りごとを出してください。課題解決型で話し合います。悩みごとのある人もない人も、どなたも歓迎!

第2土曜日 午後3時～5時、参加無料。

☆文章懇話会

文章は最も正確で強力なコミュニケーションツールです。自分で書いた文章を提出してください。本人にしか書けない文章を目指して話し合います。自分自身を再発見します。

第2木曜日午後3時～5時、8月から参加無料になりました。